

令和4年度山形県協議会重点取組事項PDCAシート

○ 加工食品の輸送に係る労働環境の改善について

○重点取組事項概要

当協議会が取組輸送分野としている加工食品分野については、未だにトラックドライバーが手積み・手卸しなどの附帯作業を担っている現場もある。これら附帯作業の荷役分離を進めるためには荷主側の理解・協力が不可欠であるが、荷主企業側においても人材確保がままならず改善に時間を要する状況にある。そこで、現状、手荷役により附帯作業が行われ、荷役時間の長時間化及び肉体的負担が生じていると考えられるトラックドライバーを選定し、アシストスーツの利用による荷役時間の短縮度合い及び疲労度の軽減効果を検証する実証事件を実施する。

令和6年4月を目前に控える中、改善対応がうまく進まない運送事業者や2024年問題への理解度が低い荷主が存在する実態にあるため、荷主及び運送事業者を対象とした「2024年問題」に関する意識調査を実施し、現在の取組状況や取組を推進するに当たって持ち上がった課題等を明らかにするとともに、好事例を収集し水平展開することで、取組みの加速化を図る。

○OKPI

[1]アシストスーツを活用した実証実験

肉体的疲労の軽減、満足度の向上 →ドライバー・荷主に対するアンケート調査の実施
荷役作業時間の短縮 5分～10分程度/回 →ドライバー・データでの検証

[2]「2024年問題」に関する意識調査の実施(アンケート配布数)

荷主企業 50社 、運送事業者 50社

○重点取組事項の取組状況

[1]アシストスーツを活用した実証実験

肉体的披露の軽減、満足度の向上 →ドライバー・荷主に対するアンケート調査の実施
筋電測定の実測データを活用した検証を追加実施
荷役作業時間の短縮 今回の実験においては、具体的な時間短縮効果の確認は出来なかった

[2]「2024年問題」に関する意識調査の実施(アンケート配布数)

荷主企業 60社(回収率53%) 、運送事業者 50社(80%)
荷主企業への配布枚数を増加することで、回収率を半数以上に上げることが出来た。
運送事業者については、トラック協会からも回答への働きかけを行うことで80%まで回収率を高める事が出来た。

○課題及び今後の対応の方向性

- ・運送現場では、依然として、手積み・手荷役による附帯作業による長時間労働となっているため、作業特性に応じた効果的な改善方策を引き続き検討して行く必要がある。
- ・荷主企業の「2024年問題」への理解促進及び運送事業者との連携強化を推進するため、令和5年度早期に荷主向けの説明会等を開催する。
- ・国において実施している各種荷主対策を活用し、従来型の慣習からの脱却、取引環境の改善を推進する。
- ・業界団体としても、会員企業等の荷主への運賃交渉や業務改革を推進するための各種助言や働きかけを強化するとともに、事業者からの要望等の吸い上げを行う。